

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第35回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成29年1月26日(木) 午後3時00分～午後4時30分	場所	木津川市役所 第2北別館 2階会議室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】 □中川 大委員(副会長)、 ■大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】 ■杉本 美保委員、 ■上野 明信委員、 ■占部 禎佑委員、 □福本 桂子委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 ■平田 克子委員、 ■久保 恭子委員、 ■今西 邦雄委員、</p> <p>【事業者】 ■長澤 卓夫委員 ■森本 治実委員 ※代理：西川 裕子(近畿日本鉄道株式会社鉄道本部総合企画本部計画部) ■後藤 秀雄委員 ※代理：橋本 倫尚(奈良交通株式会社乗合事業部課長) ■津田 秀夫委員、 □近藤 智彦委員、 □大江 正泰委員、 ■梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、 ■霜永 勝一委員 ※代理：布田 尚弘(奈良交通運輸産業労働組合協議会事務局次長)</p> <p>【行政機関】 ■道久 聡委員、 ■菅沼 幸江委員 ※代理：森本 聡(国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所調査課建設専門官)、 □山本 勇人委員、 ■木寺 信男委員、 □西村 基弘委員 □河井 規子委員(会長) □田中 達男委員、 ■若狭 朝明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】 ■安江 亮 ※代理：長田 慎吾(国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課係長)</p>	
事務局	岩木事務局長、尾崎事務局次長、富井主任、藤木主事		
傍聴者	3人		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況について【資料1】</p> <p>(2) 協議事項 ①木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について【資料2】 ②地域公共交通確保維持改善事業(地域間幹線系統)平成28年度事業評価案について【資料3】 ③地域公共交通確保維持改善事業(地域内フィーダー系統)平成28年度事業評価案について【資料4】 ④地域公共交通確保維持改善事業(計画推進事業)平成28年度事業評価案につ</p>		

	<p>いて【資料5】</p> <p>(3) その他 ①次回協議会の開催日程について ②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として大村委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項 ①木津川市コミュニティバスの利用状況について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) 協議事項 ①木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について 資料2に基づき、事務局から提案があり、承認した。 ②地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）平成28年度事業評価案について 資料3に基づき、事務局から提案があり、承認した。 ③地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）平成28年度事業評価案について 資料4に基づき、事務局から提案があり、承認した。 ④地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業）平成28年度事業評価案について 資料5に基づき、事務局から提案があり、承認した。</p> <p>(3) その他 ①次回協議会の日程について 後日通知することとした。 ②その他</p> <p>3. 閉会</p>

会議経過要旨

1. 開会

会議結果要旨のとおり。

2. 議事

(1) 報告事項

①木津川市コミュニティバスの利用状況について

【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○利用状況の傾向だけではなく、分析結果を示していただく必要があるのではない
か。

●想定ではあるが、きのつバスは、路線バスを利用されるようになったこと、ま
た、木津西地域の利用者が減少した。

かもバス当尾線は、加茂駅から浄瑠璃寺など、観光地にウォーキングで行かれる
方が増えたため、バス利用者が減少した。

やましるバスは、全体の利用者が減少したと分析している。

○兜台一丁目西停留所で利用者が減少したのは、きのつバス木-3のみか。

●すべての路線で減少した。

○1日フリー乗車券の販売状況は。

●4月から11月までの販売枚数は、平成27年度が、1,563枚、平成28年
度が、1,584枚であった。

○1日フリー乗車券の販売状況を資料として次回から準備していただきたい。

○市内各駅による乗降客数の推移はどうか。

●木津駅の乗降客数は増加している。加茂駅、上粕駅、棚倉駅、西木津駅の乗降客
数は減少している。

○木津川台地域から山田川駅までの利用が増えた理由を分析していただきたい。

●分析に努める。

○ICカード利用データと併せて事業者ヒアリングなどを実施し、分析してはど
うか。

●路線バスの利用データなどと合わせて分析する。

○きのつバス木-1の路線を加茂駅まで延長できないか。

●運行経費や他の公共交通の役割など、公共交通全体として検討する必要がある。

○平成29年度は、地域公共交通網形成計画の中間年度であり、進捗状況などによ
り、計画を見直す時期である。路線バス、鉄道など公共交通全体を見て検討して

ほしい。

- コミュニティバスは、交通空白地域の解消や免許返納者など移動手段を持たない方の交通手段の確保を目的として運行している。市から年間5千万円程度負担していることを踏まえ、公共交通全体について検討する必要がある。

○免許返納実績はどうか。

- 具体の数値は把握していないが、増えてきていると認識している。

○免許返納者に対して1日フリー乗車券を贈呈している事業を公共交通だよりに掲載してはどうか。

- 広報紙に掲載している。

○加茂駅窓口の駅員不在時間について、どのように考えているのか。

- 窓口が不在になる時間については、社員の休憩時間としているが、インターホンで呼んでいただければ対応する。また、カメラ付き券売機を設置しているため、利用していただきたい。

○木津地域と加茂地域を結ぶ路線の検討をしてほしい。

(2) 協議事項

①木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について

【配布資料】資料2 木津川市コミュニティバスのダイヤ改正等について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○奈良交通では、木津南地区において複数の路線を運行されているが、路線によって、木津南ソレイユ停留所の設置場所が異なっているため、利用しづらい。利用者が分かりやすい表示としてほしい。

○JR奈良線複線化の状況は。

- 平成34年度末までに、京都駅城陽駅間、山城多賀駅玉水駅間の複線化工事が実施される。

②地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）平成28年度事業評価案について

③地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）平成28年度事業評価案について

④地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業）平成28年度事業評価案について

【配布資料】資料3 地域公共交通確保維持改善事業（地域間幹線系統）平成28年度事業評価案について

資料4 地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統）平成28年度事業評価案について

資料5 地域公共交通確保維持改善事業（計画推進事業）平成28年度事業評価案について

【主な意見・質疑等】（○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答）

○時刻表に係る有料広告の応募はあったのか。

●応募件数は0件であった。

○近鉄の駅で1日フリー乗車券は販売できないか。

●今後、販売できるように協力依頼を行う。

JRについては、1月21日に加茂駅構内に観光案内所が開設され、1日フリー乗車券の販売を行っていただくこととなった。

○地域間幹線系統の事業評価に係る目標値はどのように設定したのか。

●計画を策定した平成27年6月時点における直近の利用者数を上回ることにした。

（3）その他

①次回協議会の日程について
改めて通知させていただく。

②その他

3. 閉会

以上。

その他
特記事項

なし。